

「観光振興課（観光協会提供）」

## ○4月観光情報

### 【あしかが『美』食まつり2022】

足利市内の農家の方々が手塩にかけて育てたJA足利の農産物ブランドである「あしかが美人®」。その中のトマト・アスパラガス・いちごが、旬を迎える時期、市内の飲食店とコラボレーションして珠玉のメニューとなって登場します。

今回もスタンプラリーやInstagramでの投稿を促すための景品抽選など、沢山の方にご参加いただけるよう様々な工夫を凝らしておりますので、ぜひご参加・ご賞味ください。

日 時:2月19日(土)～5月8日(日) 各協賛店舗の営業時間内

場 所:足利市内各店舗(協賛店舗27店舗、31品目)

問合せ:一般社団法人足利市観光協会(事務局) ☎0284-43-3000

### 【栗田美術館特集陳列 伊萬里焼の小品を楽しむ ― 小皿・小鉢・茶碗 ― 】

取皿や醤油皿など、使い方により様々な呼ばれ方をする小ぶりの皿と小さな鉢など日常の食卓に欠かせない器。一人ずつの膳で食事をとるという形式であった江戸時代、このような器は重要な食生活のアイテムだったようです。今回の特集では、俗に手塩皿ともよばれる小皿と、人気のそば猪口を含めた小鉢類、蓋付茶碗や湯呑茶碗など、50件余りをご鑑賞いただきます。

日 時:3月19日(土)～8月28日(日)まで

午前9時30分～午後5時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

4・5月の休館日及び開館時間は変更する場合があります。

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円) ()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約15分

問合せ:栗田美術館 ☎0284-91-1026

### 【さくら祭り】

#### ☆足利公園桜まつり2022(仮称)(開催予定)

日本で日本人により最初に学術的な考古学調査が行われた足利公園古墳の丘陵。八雲神社から草雲美術館へ続く桜色の景色の中で開催されます。毎年、「みんなで楽しめるお花見」をコンセプトに、お店が並び、お祭り期間中は様々なイベントが行われます。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、規模を縮小しての開催となる場合もございます。

日 時:4月3日(日)イベント予定 詳細は開花状況に合わせてスケジュールが決定されま

## 「観光振興課（観光協会提供）」

す。

場 所:足利公園(緑町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約25分

JR両毛線足利駅より徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより約20分

北関東自動車道太田桐生ICより約12分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合せ先:足利公園観光協会 ☎0284-22-0121(田辺宅)

### 【大岩山毘沙門天春季大祭】

奈良の信貴山・京都の鞍馬山とともに、日本三大毘沙門天の一つとして知られる大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)で春季大祭御護摩修行(春祭)が行われます。

当日はご開帳があり、多くの方が参拝されます。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染対策を講じながら開催致します。

日 時:4月1日(金)午前5時30分、午前10時、午後1時30分(参拝は終日)

(毎年4月1日開催)

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)(大岩町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約30分

問合せ先:最勝寺 ☎0284-21-8885

### 【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 ちやう しろうぞう 長 四郎三氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流(おもてせんけふはくりゅう)の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造(きりづまづくり)、三畳台目(さんじょうだいめ)の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲(こひつりょうちゅう)の指導を受け、慎重を期したと言われています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。

担当職員がおります場合は、お庭の解説等も受けられますので、お気軽にお声掛けください。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日 時:4・5月の日・祝日、6月の第2日曜日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165-2番地 織姫公民館北側)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

## 「観光振興課（観光協会提供）」

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分  
北関東自動車道足利ICより約15分  
東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

### 【下野國一社八幡宮春祭】(開催方法・日程検討中)

下野國一社八幡宮は、八幡太郎の源義家が、勅命により陸奥の豪族安倍頼時父子を討伐するために下向の途中、戦勝を祈願して創建したのが始まりといわれています。

下野国第一の八幡宮として、下野國一社八幡宮と称し、南北朝時代以降の指定文化財を数多く有しています。

境内には、「日本三大縁切り稲荷」の一つに数えられ、縁切りは勿論の事、病気、災難、厄除けにも靈験あらたかな門田稲荷神社があります。

春祭りでは足利市無形文化財に指定されている御神楽が毎年披露されます。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日 時:4月10日(日) ※毎年4月10日

場 所:下野國一社八幡宮(八幡町)

内 容:ご参拝 午後8時まで

御神楽 午前10時～午後3時頃予定(詳細未定)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約5分、徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より車で約10分、徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより約20分

問合せ先:下野國一社八幡宮社務所 ☎0284-71-0292

### 【足利春まつり】

ゴールデンウィークを中心に、毎年、市内を散策する「あしかが春ウォーク」などのイベントが催されます。

期 間:4月中旬～5月中旬 ※詳細未定

場 所:市内各所

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合せ先:足利春まつり実行委員会(事務局:足利商工会議所) ☎0284-21-1354

### ☆ふじのはな物語～大藤まつり2022～

350本以上の藤の花と5,000本以上のつつじが咲く「ふじのはな物語～大藤まつり2022～」。世界一の美しさを誇る大藤、80mも続く白藤のトンネルや、きばな藤など息をのむ美しさのふじを堪能できます。別世界へと誘う神秘的な夜の大藤もお勧めです。

咲く色の順番としては、第1幕うす紅藤、第2幕大藤・むらさき藤、第3幕白藤、第4幕きばな藤の順に約1か月お楽しみいただけます。

## 「観光振興課（観光協会提供）」

5,000株以上咲き誇るつつじは4月中旬から5月上旬頃が見ごろです。  
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模縮小もございます。

期 間:4月16日(土)～5月22日(日)

※ライトアップ期間 4月16日(土)～5月15日(日)

時 間:4月16日(土)～4月22日(金) 午前8時～午後8時30分

4月23日(土)～5月8日(日) 午前7時～午後9時

5月9日(月)～5月15日(日) 午前8時30分～午後8時30分

5月16日(月)～5月22日(日) 午前9時～午後6時

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

料 金:大人900円～2,000円、小人500円～1,000円

※夜の部(夜の部入場券は午後5時30分から販売)

大人600円～1,800円、小人300円～900円

※入園料、開催期間、ライトアップ期間は、開花状況により変更になる場合があります。

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

## 【樺崎八幡宮春祭】

鏝阿寺の開基として知られる源姓足利氏2代目義兼が、その生涯を閉じた地に建てられたのが樺崎八幡宮といわれ、本殿の床下には「足利義兼公御廟」と書いた墓標が立っています。

発掘調査の結果、この遺跡は浄土庭園やお堂を残す中世の寺院跡として全国的に貴重であることが認められ、国指定史跡となっています。

樺崎八幡宮春祭では、氏子の方々による太々神楽の披露、また地元の方による模擬店が出ます。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模縮小もございます。

日 時:4月17日(日) (毎年4月の第3日曜日)

場 所:樺崎八幡宮(樺崎町)

内 容:祈願式 午前11時～

模擬店 午前10時～午後3時(予定)

神楽 午前10時～午後3時(予定)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約5分

問合せ先:樺崎八幡宮総代長 斎藤宅 ☎0284-41-3504

## 「観光振興課（観光協会提供）」

### 花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合があります。お問合せのうえお出かけください。

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光振興課観光・コンベンション担当 ☎0284-20-2165

### 【さくら】

日本の花といったら多くの方がこの名をあげる「さくら」。

足利公園でのさくら祭りの他、千歳町や常盤町の袋川沿いでも美しい桜を静かに愛でることが出来ます。栗田美術館の桜や史跡足利学校のしだれ桜も必見です。

時 期:3月下旬～4月中旬

場 所:千歳地区袋川堤(約150本、千歳町・常盤町・寿町)、  
足利公園(約220本、緑町2丁目)、織姫公園(約330本、巴町)、  
山前公園(約320本、大前町)、東砂原後町・田所町付近旧袋川、  
利保町宮前橋付近(名草川、通称めがね橋)、鑢阿寺、栗田美術館、  
史跡足利学校ほか

問合先:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

### 【菜の花】

菜の花が一面に咲く川沿いは、まるで黄色い絨毯を敷き詰めたかのよう。菜の花が咲き誇る渡良瀬川の堤防を歩くと、体全体で春の訪れを感じることができます。

時 期:3月下旬～4月上旬

場 所:渡良瀬川堤防(野田町)、千歳地区袋川沿い(千歳町・常盤町・寿町)

問合先:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

### 【ふじ】

ピンク・むらさき・白・黄色と足利市に春の訪れを感じさせてくれる花。県外の方や国外の方等沢山の方が堪能されます。

時 期:4月中旬～5月中旬

場 所:織姫公園(巴町)、足利学校(昌平町)、あしかがフラワーパーク(迫間町)

問合先:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

### 【つつじ】

うららかな春、見る人を明るい気分誘ってくれます。

時 期:4月下旬～5月上旬

場 所:織姫公園(巴町)、山前公園(大前町)、足利公園(緑町2丁目)、  
あしかがフラワーパーク(迫間町)

問合先:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

## 「観光振興課（観光協会提供）」

### 体 験

#### 【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止。）

場 所:八木節会館(福居町)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利八木節連合会 ☎0284-71-1214